

OIST 視察 概要報告

1. 目的および概要：

地域・経済活性化委員会および情報通信委員会は、世界中から優秀な研究者が集まり、沖縄に比類なき研究とイノベーション拠点の形成を目指して分野の垣根を超えた研究を行っている沖縄科学技術大学院大学（OIST）との連携を深めるために、同校の視察を行った。

はじめに、カリン・マルキデス学長から歓迎のご挨拶を頂戴し、OIST のビジョンや産学連携の加速化に向けた取り組みについてコメントがあった。その後の意見交換会では、比嘉副学長から OIST の概要、広報 Div. 松本様からアウトリーチ活動の取組状況、根本教授から量子イノベーション拠点としての取組状況等についてご説明があった。参加者の皆さまからは多くの質疑があり、活発な意見交換が行われた。

キャンパスツアーでは、研究棟へ繋がる連絡通路スカイウォークをはじめ、研究棟内、電子顕微鏡などの研究設備、講堂等を視察した。

2. 日程およびスケジュール概要：

令和 6 年 2 月 22 日（木） 14:00～17:00

14:00～15:00 意見交換会（第一部）「OIST の概要・取組等について」

15:00～16:00 意見交換会（第二部）「量子技術について」

16:00～17:00 キャンパスツアー（スカイウォーク、研究棟、研究設備、講堂等）

17:00 解散

3. 参加者：29 名

No.	当会役職	氏名	会社名	役職名
1	地域・経済活性化委員長	豊田 良二	(株)りゅうぎん総合研究所	代表取締役社長
2	情報通信委員長	上運天 清	(株)りゅうせきフロントライン	代表取締役社長
3	未来創造委員長	前田 貴子	(株)ゆがふホールディングス	代表取締役社長
4	常任幹事	浅井 幸広	丸紅(株)	沖縄支店長
5	常任幹事	荒木 定明	フォーモストブルーシール(株)	会長
6	常任幹事	栗屋 勝幸	住友商事九州(株)	沖縄支店長
7	常任幹事	小島 亮太	日本銀行 那覇支店	支店長
8	常任幹事	新城 一史	(株)沖縄海邦銀行	代表取締役頭取
9	常任幹事	武田 尚	(株)サンエー	取締役
10	常任幹事	袋 光成	三井物産(株)	那覇支店長
11	会員	池田 須美子	(株)ISC	代表取締役社長
12	会員	上江洲 安広	(株)アドスタッフ博報堂	取締役
13	会員	勝又 浩	(株)マイナビ	沖縄支社長
14	会員	鈴木 康友	(株)ジーセットメディカル	代表取締役社長
15	会員	伴野 賢太郎	三菱地所(株)	沖縄事業企画室長
16	会員	古江 健太郎	西日本電信電話(株)	沖縄支店長
17	会員	宮田 直大	三菱電機(株)	沖縄支店長
18	会員	村田 茂	(株)東芝	沖縄支店長

19	準会員	上原 明寿	(株)ゆがふホールディングス	常務取締役 兼 社長室長
20	準会員	高野 衛	沖縄日下部産業(株)	執行役員営業部長
21	準会員	日比 靖浩	(株)琉球銀行	法人事業部顧問
22	オブザーバー	荻山 純一	沖縄ツーリスト(株)	執行役員 本店長
23	オブザーバー	高江洲 一男	(株)りゅうせきフロントライン	ソリューション事業部 部長
24	オブザーバー	桃原 致伸	(株)FRT	常務取締役
25	オブザーバー	鉢嶺 宗美	(株)りゅうせきフロントライン	ソリューション事業部 取締役部長
26	オブザーバー	宮国 英理子	(株)りゅうぎん総合研究所	取締役調査研究部長
27	事務局	竹越 康一郎	沖縄経済同友会	事務局長
28	事務局	金城 知	沖縄経済同友会	事務局研究員
29	事務局	伊志嶺 誠	沖縄経済同友会	事務局研究員

4. 意見交換会・視察内容

①意見交換会（第一部）「OISTの概要・取組等について」

冒頭、カリン・マルキデス学長より、開会のご挨拶を頂戴し、当会視察を温かく迎い入れて頂いた。その後、比嘉副学長より OIST の概要についてご説明があり、卓越した研究の一例として自然科学分野の研究論文の質において OIST は国内トップ・世界で 9 位

(Nature Index 2019) であることやスバンテ・ペーゴ教授が 2022 年ノーベル生理学・医学賞を受賞したことなどご紹介があった。また、OIST は学部を設けておらず、学際的なアプローチを重視して研究を行っているとのことであった。

続いて、広報 Div. の松本様より、沖縄の小中高生を対象とした教育プログラムの取組状況についてご説明があり、地域に根ざした活動も積極的に行っていることが分かった。



②意見交換会（第二部）「量子技術について」

量子情報科学・技術ユニットの根本教授より量子技術・産業のこれまでの変遷や今後の可能性、OISTの産学連携による量子人材育成プログラム、沖縄の産業界との連携に向けた課題等についてご説明があった。参加者の皆さまから量子人材育成プログラムの研修期間や量子コンピューターが汎用化されるまでの見込み時期等、多くの質疑があり、活発な意見交換が行われた。





③ キャンパスツアー

センター棟と研究棟を繋ぐスカイウォークをはじめ、研究棟内、電子顕微鏡などの研究設備、講堂等を視察した。研究棟は研究者らのコミュニケーションを活性化し、分野に捉われない斬新なアイデアを発出する目的で、研究分野に関係なく教授陣のお部屋や研究室を配置していること等をご紹介いただいた。また、講堂は内壁が音響に拘った設計となっており、特殊な造りであった。一般向けにも開放しており、空きがあれば使用できるとのことであった。



最後に、今回の視察を通して、OIST による産学連携と沖縄振興への取り組みについて理解を深めるとともに、OIST と経済界の連携を深めることができ、大変有意義な視察となった。カリン・マルキデス学長をはじめ OIST の皆さまには多大なるご支援・ご協力をいただいた。この場を借りて厚く御礼申し上げる。



以 上